

【音楽科】 第3学年 題材名「ブルタバ 音楽を形作っている要素と曲想との関わりを理解し、曲が生まれた背景や歴史と関連づけて作曲者の思いを感じながら聴こう」

令和元年9月2日（月）5第校時 音楽室

3年A組 指導者 土屋 美咲

1 単元の目標

音楽を形作る要素を知覚し、歴史的背景や情景との関わりが生み出す良さや美しさを感じ、それを伝え合う活動を通して考えを広げたり深めたり、再認識したりする。

2 単元計画（全3時間計画）

- 第1時 チェコやスメタナについて調べ、「ブルタバ」のスコアを見ながら標題をもとに音楽を形作っている要素に印を付けていく。
- 第2時 本時 図書を活用して、各場面にふさわしい写真や画像を選ぶ。
- 第3時 グループごとに、各場面にもっともふさわしい写真や画像を選び、発表する。その発表をもとに鑑賞する。

3 司書教諭（図書主任）との連携および使用図書等

- ・7月下旬 図書主任と相談の上、学習課題に関する図書資料の確認。
図書主任が県立図書館へ連絡し、本単元に関する図書を借用。

4 本時のねらい

図書を活用して、曲の場面に最もふさわしいと思う写真や画像を選ぶという活動を通して、イメージや歴史的背景と音楽を形作る要素の関連が生み出す美しさや曲想についての考えを深めたり、広げたり、再認識したりすることができるようにする。

5 本時の展開（2／3）

主な学習活動○：留意点 点線枠：評価 ☆：振り返りの生徒の意識	使用する図書等
<p>1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>○前時で学んだ、チェコの歴史的背景や、スメタナの思いを振り返り、イメージと曲想を結びつける手掛かりになるようにする。</p> <p>○選んだ場面を再度聴く時間を設けることで、よりその場面に近いイメージを探ることができるようにする。</p> <p>○活動を具体的にイメージできるように、教師が例示をする。</p> <p>☆この場面は、どんな様子を表現しているのだろう。</p> <p>☆チェコの歴史的背景や、スメタナの生涯も、写真や画像選びに活用できそうだな。</p> <p>☆楽器も曲想に関係しているかもしれないな。</p>	
<p>〈めあて〉 場面にふさわしい写真や画像を探して、各場面の魅力の秘密を探ろう。</p>	
<p>2 図書を活用し、場面にふさわしい写真や画像を選ぶ。</p> <p>☆この水しぶきの部分は、この場面のこの部分で表現されているかもしれない。</p> <p>○イメージと曲との関わりを考えながら選ぶことができるように、「この写真のどんなところがこの場面にふさわしいと思いましたか？」などの声かけをする。</p> <p>○チェコの歴史的背景やスメタナの思いなども考えながら選ぶように声かけをする。</p> <p>○イメージや曲の背景、音楽を形作る要素などの関連を言語化し、根拠のある音楽的理解につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美しき日本の川（クレオ） ・日本の川一心に残る名風景（ピエブックス） ・図説「日本の河川」（朝倉書店）

○言語で表現することが難しい生徒には、友達の意見を参考にさせたり、教師が言葉を補うなどの手助けを行う。

○相談タイムで同じ場面を選んでいる友達と情報交換を行うことで、新しい考え方や共通点に気付いたり、自分の考えを見つけることができるように、場面ごとの色テープを胸の部分に貼っておく。

・日本の名河川を歩く（講談社）

・ふるさとの川紀行（ビジュアルブックス編集委員会）

3 その写真や画像を選んだ理由をワークシートに記入する。

【評価項目】関・意・態

自分の考えと友達の考えを比較したりしながら、違いや共通点に気づき、考えを深めている。

☆川の流れの激しさに、スメタナの心情が表現されているんだな。

5 本時の学習を振り返る。

○めあてに立ち返り、どんなことが曲の魅力を引き出すのかを考えさせる。

☆イメージと音楽的要素などを結びつけて曲を理解することができた。

☆音には情景や心情を表現する働きがあるのだな。

〈写真① 場面にふさわしい写真を選んでいる様子〉



〈写真③ 写真を選ぶための話し合いの様子〉



〈写真② 曲を聴きながら調べている様子〉

